

石巻圏域 SDGsパートナーセミナー



Sustainable(サステナブル:持続可能な)
Development(ディベロップメント:開発)
Goals(ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

いしのまき圏域SDGsパートナー企業・団体などを対象にSDGsの理念とパートナー相互の取り組みについての理解を深めるとともに、組織内におけるSDGsの取り組みを発展させることを目的に、1月20日にささえあいセンターで、いしのまき圏域SDGsパートナーセミナーを開催しました。

☎ SDGs移住定住推進課(内線4225)



第1部では、花王株式会社テクノケミカル研究所の橋本良一様より「石巻からはじまるサーキュラーエコノミーの取り組み」について紹介がありました。

花王株式会社、日本道路株式会社、ニチモウ株式会社の3社が協力して処理が難しいPET素材の廃漁網を、アスファルト舗装に再利用する仕組みから、CO₂や漁網の廃棄量の削減に取り組んでいるとの話がありました。



第2部では、サステナブルコミュニティ共創機構の横山泰治様が講師となり、SDGsのカードワークを行いました。

カードワークを通して、自身の仕事やSDGsの17のゴールにどのように関係しているかを考え、一人一人が持続可能な社会の一員として欠かせない存在であることを学びました。



包括連携協定の締結状況をお知らせします

市では、地域の活性化や課題解決を図ることを目的に、民間企業・大学などの団体と包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行っています。

令和6年度は新たに3者と包括連携協定を締結し、令和7年2月末時点で、協定を締結した団体は30者となりました。

アイリスオーヤマ株式会社 (令和6年5月17日締結)

●連携項目

- ① 防災・減災に関すること
- ② 脱炭素化に関すること
- ③ 産業振興に関すること
- ④ ICT教育・行政DXに関すること
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業に関すること



学校法人根津育英会武蔵学園 (令和6年7月19日締結)

●連携項目

- ① 自治体業務の変革とデジタル技術の活用に関すること
- ② データの活用に関すること
- ③ 社会課題に対応できる市立中高生の育成に関すること
- ④ その他相互に必要と認める分野に関すること



住友生命保険相互会社 (令和7年1月28日締結)

●連携項目

- ① 健康づくりに関すること
- ② 地域の安全・安心に関すること
- ③ その他地域活性化に関すること



現在の包括連携協定の締結状況は、市ホームページを確認ください。

☎ 政策企画課(内線4215)



市ホームページ

文化財
たんぽう

128

「百萬塔」を知っていますか？

石巻市文化財保護委員 茂木好光



写真① 百萬塔(左側)と三重小塔(右側)



写真② 三重小塔と鉄鉢形須恵器出土状況

天平宝字八年(七六四年)の藤原仲麻呂(惠美押勝)の乱後、乱関係者の死者の供養のため称徳天皇の発願により、胡粉(白土)が塗られた木製の百萬塔が法隆寺など十大寺に十万基ずつ分置されました(法隆寺のみ伝

世)。これを模倣した須恵質の三重小塔(写真①)が、平成十三年度の三陸自動車道建設に伴う発掘調査により、新田東遺跡(旧河北町飯野字新田)で見えられました。この遺跡は西に隣接する桃生城(天平宝治二年(七五八

年)と宝龜五年(七七四年)を支えた柵戸(陸奥国や関東地方から移住させられた人々・鎮兵などの集落跡です。完形の小塔が奈良時代の遺跡から出土した例は、全国的にみて初めてのものです。この三重小塔は、竪穴住居跡埋土から鉄鉢形の須恵器鉢と一緒に出土しています(写真②)。この土器は「仏供養具」とみられ、僧尼や仏教との関連の深い遺物です。もしかすると、「百萬塔」を知る人々が、この石巻の地で何らかの供養を行った可能性がります。

※木製百萬塔の参考資料は、東北歴史博物館で展示されています。

【引用参考文献】宮城県文化財調査報告書一九一集「新田東遺跡」三陸自動車道建設関連遺跡調査報告書Ⅱ